Engineer プラットフォーム

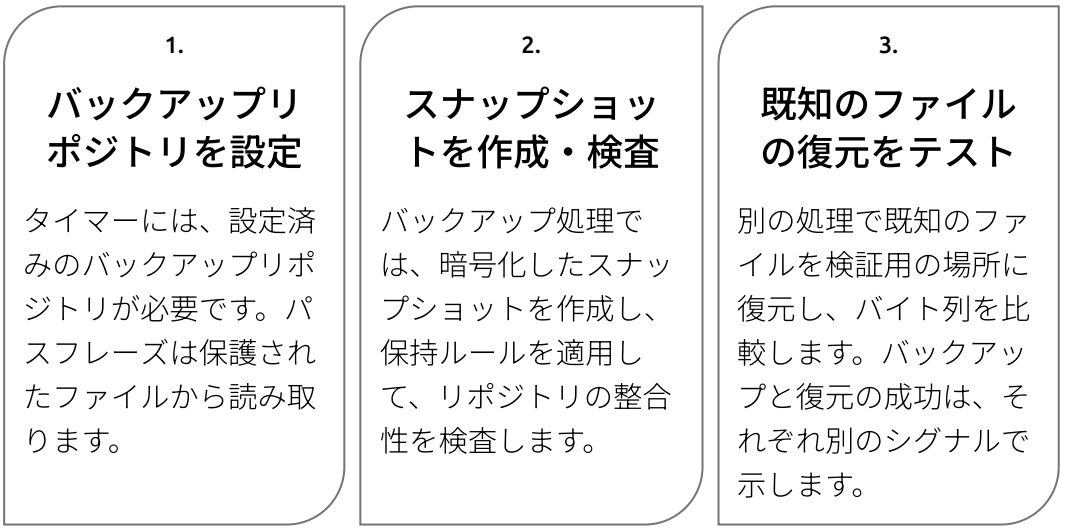
復元方法を明示したバックアップ自動化

resticのバックアップを、保持期間、整合性検査、毎月の復元テストとともに自動化し、ストレージの有効化と実環境での復元検証を別の運用手順として記録した。

9月 2026

バックアップと復元テストは別のワークフロー

バックアップと復元テストの実装を示す論理図です。日付付きの事例記録は有効化の前提条件を説明していますが、復元処理が完了した記録は示していません。



有効化と区別したバックアップ・復元テストの自動化

状況. Engineer ApSには、事業者のスナップショットを超えて自社インフラを守る復旧設計が必要だった。対象はバックアップの自動化、保存先の前提条件、復元を試す方法だった。

課題. 暗号化したホスト外スナップショット、保持規則、整合性検査、繰り返せる復元テストを実装する必要があった。これらの制御を書くことと、実環境で復旧を実証することは、別の成果物だった。

行動. Ansible ロールがresticスクリプトとsystemd ユニットを導入する。設定がある場合のDBダンプ、スナップショット作成、保持期限に応じた削除、整合性検査を扱う。別の月次手順が既知のファイルを一時領域へ復元し、バイト列を比較する。バックアップと復元の成功通知は別にし、タイマーはリポジトリの設定を前提とする。パスフレーズはsystemdが解釈する環境値でなく、保護したファイルから読む。

結果. リポジトリにはバックアップと復元テストの実装があり、有効化の前提条件も記録されている。2026-10-27付の実装記録では、リポジトリ未設定のためタイマーは無効で、実環境での復元完了も記録されていない。この日付付きの証拠は自動化の仕事を裏づけるが、現在の稼働状態、災害復旧の成功、復旧時間の約束を示すものではない。

この経験をお客様のプロジェクトに

「復元方法を明示したバックアップ自動化」を、お客様の組織の似た課題を考える出発点にしてください。この実績を支えたサービスを、お客様のプロジェクトにも提供できます。 構成全体をファイルに記述し、特定の人の記憶だけに頼らず、まったく同じ環境を再現できるようにします。

サービスを見る お問い合わせ →

結果の背景を確かめる

この事例の状況、判断、結果をご覧ください。どの部分がお客様の制約の下でも生かせるか、どこに別の方法が必要かをご相談いただけます。 復元方法を明示したバックアップ自動化 — 有効化と区別したバックアップ・復元テストの自動化

サービスを見る お問い合わせ →

バックアップからの復元を試したことがありますか？

納品を担当するエンジニアに、プロジェクトについてご相談ください。着手前に、業務範囲、価格の算定方法、引き継ぎ内容を書面で合意します。

担当した役割：サイト信頼性エンジニア。 関連する分野： インフラ, 自動化・CI/CD, 信頼性・バックアップ, Linux・サーバー, セキュリティ および 文書作成. こちらのサービスも得意としています コードによるインフラ管理, サイト信頼性・監視, バックアップ・災害復旧 および システム管理.

お問い合わせ サービスを見る

より多くの実績の **一つです** — そのすべてをこのサイトで公開しています。

どの項目も、状況、課題、実施内容、変化という同じ構成で記載しています。

すべての実績を見る

必要な改善を定める

デプロイの流れ、運用上のリスク、緊急対応の担当者をお知らせください。検査、復旧手段、明確な責任の所在を伴う変更の範囲を定められます。

料金を見る お問い合わせ →

バックアップからの復元を試したことがありますか？

「復元方法を明示したバックアップ自動化」の判断の背景についてお尋ねください。仕事内容を説明し、お客様のプロジェクトを検討できる担当者が対応します。

サービスを見る

welcome@engineer.company +45 50 10 61 84 デンマーク、コペンハーゲン

このページを持ち歩く

連絡先カード

心を込めて丁寧に制作： D.

CVR 45969703 · Tagensvej 105C, 3. th, 2200 København N

著作権 © 2025 – 現在 · Engineer ApS · すべての権利を留保します。

印刷元： https://platform.engineer.company/ja/portfolio/backups-that-have-actually-been-restored/